

技術開発テーマ名

[商業衛星コンステレーション構築加速化](#)

実施機関名（代表機関）

株式会社Synspective

研究代表者名

小畑 俊

技術開発課題の名称

小型SAR 衛星の量産・打上げと段階的性能向上

本SG評価の位置づけ

本ステージゲート評価は、本技術開発テーマの実施方針/公募要領において、年に1回程度のステージゲート評価が設定されていることから、各課題について技術開発及び事業化に向けた進捗状況の確認を主として実施したものの。

評価の概要

本技術開発課題は、全体として概ね当初計画どおりに進捗していると評価できる。

設定された目標をすべて達成し、売上高・顧客獲得・海外パートナー獲得・量産化効果など複数の指標でKPIを上回る成果が示されている点は高く評価できる。とりわけ、防衛省案件の成約は市場獲得の実効性を裏づける顕著な成果であると考えられる。加えて、事業価値を高め得る取り組みに着手しており、事業展開の加速に向けた開発項目の洗い出しや、ものづくり効率の改善も進んでいることから、今後計画を達成できる蓋然性は高く、内外情勢の変化を踏まえても本プロジェクトの価値は維持されていると判断できる。

顧客や関係者の増加に伴い、セキュリティ要求等の調整事項について、継続的な対応が求められることに留意する必要がある。また、海外競合他社の状況を踏まえ、競争力を高めるため機動的に事業計画を修正していくことが重要である。

以上により、公募要領等を示されたステージゲートの観点に照らして、技術開発計画は想定通りに進捗しており、優れた成果が得られている、またはその見通しが得られていることから、技術開発を継続すべきである。

座長
(担当PO)

木村 真一
東京理科大学 創域理工学部 電気電子情報工学科 教授

委員

今井 良一
元JAXA理事 (第一宇宙技術部門、第二宇宙技術部門、研究開発部門兼務)

委員

尾崎 典明
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーシップ 副代表理事

委員

片岡 晴彦
日本宇宙安全保障研究所 副理事長

委員

門脇 直人
国立研究開発法人情報通信研究機構 主席研究員

委員

栞原 聡文
東北大学グリーン未来創造機構 グリーンクロステック研究センター 教授

委員

張替 正敏
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 アドバイザー

敬称略、座長を除き、委員は五十音順
利益相反マネジメント規程に則り、審査委員は、利益相反がある技術開発課題についての審査をしていない